

今後の図書館スケジュール（令和4年7月現在）〈資料1-1〉の説明

【社会教育課】 基本構想	文化複合施設整備事業の凍結に伴い、当該事業再開と新図書館基本構想の策定を考慮し、現図書館基本構想の実施スケジュールを1年間追加し、施策に取り組んでおります。
【社会教育課】 文化複合施設	「東大阪市公共施設再編整備計画」による文化複合施設整備の方針は、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応するため、令和2年10月、一旦凍結となりました。 市の方針決定を待つところですが、今後、何らかの動きがあった場合は、速やかに協議会へご報告いたします。
【社会教育課】 移動図書館	ウメ号・キキョウ号は共に購入後20年以上経過して老朽化が進んでおり、故障時の部品供給もままならない状況から、行財政改革プランの見直し項目となっています。移動図書館のあり方については今後も引き続き検討し、それと並行して、各ステーションの利用状況の調査や後述のリージョンセンターとの連携を進めてまいります。
【図書館】 リージョンセンターの 活用	・出張図書館 令和3年11月から布施駅前市民プラザ及び楠根市民プラザにおいて出張図書館を行っています。(布施駅前市民プラザ:毎月第1・3金曜日、楠根市民プラザ:毎月第2・4金曜日に14:00～16:00まで実施) この両市民プラザでの実績と課題を基に、今後移動図書館のあり方の検討と併せて、他の市民プラザにもサービスを拡充していけるよう所管部局と協議を進めてまいります。
【図書館】 ひがしおおさか 電子図書館	【令和4年度利用状況(7月末現在)】 貸出総数73,175冊(うち、学校連携によるもの63,336冊)となっており、8割強が小中学校に配付されたタブレット端末による電子図書館の学校連携の中での利用となっています。 また、令和4年4月より読み放題の児童書(名作・歴史読み物)の提供「読み放題サービス」を開始しました。同時接続数に制限がないため、予約待ちなしにいつでも何人でも読むことが可能となっています。 【蔵書状況】 令和4年2月・3月に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金にて児童書を中心に約7,700タイトルを追加購入し、全体の蔵書数は約47,000タイトルとなりました。

<p>【図書館】 学校図書支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回学校司書連絡会(4/27)において、新たに開始した電子図書館の「読み放題サービス」についての説明をし、引き続き、学校での電子図書館サービスの活用について周知を行いました。 ・令和4年4月20日に学校教育推進室と連名で各小学校長に「学校団体貸出しにおける利用拡充のお願い」の通知を行い、さらなる周知に務めました。 ・令和4年6月に「ブックトーク」を大蓮小学校1年生、4年生向けに実施しました。 ・令和3年度の団体貸出しの状況は26校、約6,000冊となっています。令和4年4月から6月の団体貸出しの状況は18校、約2,000冊となっています。
<p>【学校教育推進室】 学校司書連絡会</p>	<p>令和4年度 【学校図書館司書:定員19名の配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆第1回学校司書連絡会 4月27日開催 (案件) ・「令和4年度子どもの読書活動推進フォーラム」シンポジウムの視聴 ・学校間交流会「学校図書館授業活用計画」等について ※学校司書の仕事や学校図書館授業活用計画の作成方法等の意見交換や情報共有を実施しました。現在、学校司書間での交流方法として学校園間フォルダを活用して、情報交換しているところですが、今後は、Teamsも活用できるように進めてまいります。 ◆第2回7月27日開催 (案件) ・新聞の読み方 ・新聞記事の活用方法 ・その他「Teamsの使い方について」 ◆第3回12月開催予定 ◆第4回3月開催予定
<p>【社会教育課】 第2次東大阪市子ども読書活動推進計画</p>	<p>現行の「第2次子ども読書活動推進計画」が計画年度を令和5年度までとしていることから、新たに「第3次子ども読書活動推進計画」を令和4年度、令和5年度の2カ年で策定します。</p>